



島Pだより

No.43
2019.9



ご挨拶

島根県PTA連合会

会長 原 完次

島根県PTA連合会の会長を務めさせていただいております原と申します。今年度で2年目を迎えました。島根県内14の市郡連合会と母親委員会と協力し、活動をして参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

まずは、8月4日江津市総合市民センターにおいて開催しました第63回 島根県PTA連合会研修大会江津大会では「かかわって つながって ささえあう～みんなで見守る地域の宝～」を主題に多くのPTA会員の皆様にお集まりいただき、実践発表、講演会を通してPTA活動や地域、家庭、子育てにおいて参考になる気づきがあったのではないかと思います。是非、多くの方々と共有していただきますようお願い致します。また、準備運営に携わっていただきました江津市PTA連合会の皆様には心よりお礼申しあげます。

さて、昨今のスマートフォンやゲーム、SNSといったメディア機器の長時間利用による子ども達の成長への影響、SNSサービスの誤った利用から起こるいじめだけでなく、本来子ども達を守るべき大人たちが引き起こす、子どもに対する犯罪や虐待など、同じ親としてやり場のない怒り、なぜ?どうして?といった事が繰り返し報道され、課題も複雑化してきています。

PTA活動はよく子どもの為にと言われますが、まずは大人が家庭・学校・地域の事を真剣に考え、よりよい社会のために取り組む姿や本気で遊び楽しむ姿を見せることが大切ではないかと思います。

これからの時代は私たちが何十年かけ経験してきた時代の変化よりも急速に変化し、予測困難な時代がやってきます。

来年からは小学校、そして中学校と学習指導要領が改定され、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、学校教育を進化させるため「社会に開かれた教育課程」の実現が重要となるといわれています。

「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「子供一人一人の発達をどのように支援するか」「何が身に付いたか」

子ども達がこれからの時代を生き抜くために必要な力を身につけるために、学校や先生だけの力では実現は不可能です。

今、言われている「教職員の働き方改革」についても、学校や先生はこうあるべきだと言う考えを改め、よりよい社会を創り上げるために子どもを中心に、今以上のつながりをつくり、そして、様々な人たちとかわりながら家庭・学校・地域社会で、まずはやってみよう!と言うチャレンジ精神と、それを応援していく周囲の力を結集することが大切ではないかと思います。

最後に、これから新しいPTAのあり方について皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、引き続きPTA活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

日本PTA全国研究大会兵庫大会へ参加して

松江市PTA連合会 会長 長谷川修二



8月23日(金)と24日(土)の2日間にわたり、神戸市並びに兵庫県内各都市において全国から約8000名のPTAの代表が参加して、日本PTA全国研究大会兵庫大会が行われました。

第1日目の23日(金)は、兵庫県内10都市に分かれてテーマ別に分科会が開催されました。

明石市民文化ホールにおいて行われました特別第2分科会は文部科学省の協力で、「家庭・地域とともにある学校づくりを目指して」～コミュニティ・スクールという仕組み作り～と題して近年全国で導入が加速しているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について文部科学省のコミュニティ・スクール(同制度)マイスターが現状と課題等を説明し、兵庫県立大学の教授の進行によるシンポジウム形式の研修があり、コミュニティ・スクール(同制度)導入するメリットについて、地元明石市のPTAや全国から参加したPTAの皆

さん約1100名が熱心に聞き入って、質疑応答をしていました。

また第2日目の24日(土)は全体会が神戸市のワールド記念ホールにおいて行われ、中村文部科学大臣政務官他来賓からの祝辞を戴いた開会行事の後、メンタリストのDaiGoさんによるトークセッションが行われました。

DaiGoさんからは、自身が壮絶ないじめにあっていたことや、性格やIQの半分は遺伝であること等が紹介され、身の回りに巻き起こる全てのことに對し、自分から動くことや自分が変わることによって解決してきたことで今の自分があることのお話があり、その後参加者との質疑応答を通して、場内と一体感があふれる、心温まるDaiGoさんの対応に大感動の全体会となりました。



第63回島根県PTA連合会研修大会江津大会

「一生精進・常に前進」～古賀稔彦

江津市PTA連合会 会長 竹下 壽一



第63回島根県PTA連合会研修大会江津大会の実行委員長を務めさせて頂きました、江津市立桜江中学校PTA会長の竹下壽一です。

江津市で県Pの研修大会が開催されることは数年前から

知っていましたが、どこか他人ごとで、まさか自分が実行委員長を務めることになるとは夢にも思ってもいませんでした。

一年半前、ちょうどその頃長男が高校受験で頑張っている時期でもあり、形は違えど親として何かに挑戦している姿を見せることでお互い頑張れるのではないかと～勝手に思い、それまで頑なに断ってきましたが、少しずつ心が動かされ最終的には、大会事務局として支えて頂いた堀教頭先生の「一緒にやりましょうよ!」の言葉で腹をくりました。

開催当日は、県内より多くの会員の皆様に参加頂き誠にありがとうございました。

大会主題「かかわってつながって ささえあう～みんなで見守る

地域の宝～」のもと郷田小学校、津宮小学校2校による実践発表では、地域の宝である子どもの成長にとって、家庭・学校・地域社会の大人が、子どもを中心に据えともにささえあい、助け合い、つながることの大切さを改めて考えさせられたのではないのでしょうか。

柔道家・古賀稔彦さんには、3人の子を持つ父親として、また多くの塾生を指導する柔道家として、ご自身の経験に基づき講演いただきました。講演のなかで、「子どもの失敗やうまく出来ないことの原因は、親の遺伝子にあり、子どもの成功やうまく出来たことは子どもの努力にある。」との言葉がとても印象に残りました。同様のことを日P全国大会において、メンタリストDaiGo氏が記念講演で「子どもの性格の50%は親の遺伝子に影響されることが科学的に実証されている」と話していました。あわせて、「子どもを変えようとするのではなく、保護者である自分自身を変える。その姿を見せることで、その意志力が子どもに感染する。こんな子どもになってほしいと願うなら、まずは自分がチャレンジを!」と説いていました。煩わしいことが多いPTA活動ではありますが、かかわりあうこともその一つではないのでしょうか。

最後になりましたが、各市郡PTA連合会をはじめ、多くの皆様にご協力・ご支援いただき無事大会を終えることができました。改めてお礼申し上げますとともに、次年度開催されます松江大会の成功を心よりお祈り申し上げます。

令和元年度 第41回全国小・中学校PTA広報紙コンクール

第1次審査(島根県審査)結果について

審査委員長(松本英史氏)1次審査講評から抜粋

- ・PTA広報というよりか、学校の広報紙の色合いが強く出ている広報紙が多いように感じました。
- ・保護者の目を通して子どもや学校、地域との関わり、身近な問題から電子メディアなどの社会問題を分かりやすく、読みやすく取り上げていただくことが大切です。
- ・家族や子どもさんが家庭で広報紙を見て、笑顔で会話する光景を思い浮かべて、楽しみながら作っていただきたいと思います。

毎年応募が増えてきているのは、関係者のご努力、ご協力のお陰と感謝します。



審査結果(島根県審査) 入賞作品(10点)

最優秀賞

- ・安来市立第一中学校PTA 「清流」(全国審査入賞「レイアウト賞」)

優秀賞

- ・松江市立湖南中学校PTA 「ひろぼこなん」
- ・出雲市立大津小学校PTA 「ふれあいおおつ」

優良賞

- ・雲南市立吉田中学校PTA 「ガーデン」
- ・江津市青陵中学校PTA 「青陵かわらばん」
- ・松江市立宍道小学校PTA 「しらほ」
- ・安来市立飯梨小学校PTA 「清流」
- ・安来市立井尻小学校PTA 「しゃぼんだま」
- ・松江市立津田小学校PTA 「まつぼら」
- ・出雲市立今市小学校PTA 「ウキウキ発信」

表彰おめでとうございます。

長年にわたってご尽力いただきありがとうございました。
本年度、県P連表彰を受けられましたPTA団体並びに個人の皆様をご紹介します。



団体表彰の部

- ・大田市立久屋小学校PTA 会長:胡摩田洋二 49名

個人表彰の部

- | | | | |
|-------|-----------------|--------|---------------|
| ・藤田志生 | 隠岐の島町立西郷南中学校PTA | ・村井政寛 | 出雲市立北陽小学校PTA |
| ・野村竜平 | 隠岐の島町立西郷小学校PTA | ・山本慎 | 出雲市立北陽小学校PTA |
| ・小玉友之 | 出雲市立第二中学校PTA | ・稲田洋二 | 大田市立志学小中学校PTA |
| ・高野大樹 | 出雲市立塩冶小学校PTA | ・佐々木慎司 | 浜田市立浜田東中学校PTA |
| ・木志広幸 | 出雲市立北陽小学校PTA | ・土田裕久 | 吉賀町立六日市中学校PTA |

※名簿の順は、県P連一覧表市郡別順になっています。

(敬称略)

令和元年度 島根県PTA連合会役員の皆様

(敬称略)

| | | | |
|-------|---------|-------------|-----------|
| 会 長 | 原 完 次 | 松江市PTA連合会所属 | |
| 副 会 長 | 佐 伯 紀 和 | 益田市PTA連合会 | 会長、益田地区代表 |
| 副 会 長 | 長谷川 修 二 | 松江市PTA連合会 | 会長、松江地区代表 |
| 副 会 長 | 田 辺 俊 成 | 仁多郡PTA連合会 | 会長、出雲地区代表 |
| 副 会 長 | 竹 下 壽 一 | 江津市PTA連合会 | 会長、浜田地区代表 |
| 副 会 長 | 中 村 美 帆 | 松江市PTA連合会 | 県母親委員長 |
| 副 会 長 | 池 田 宗 市 | 島根県中学校長会 | 中学校長会長 |
| 副 会 長 | 奥 村 孝 忠 | 島根県小学校長会 | 小学校長会長 |
| 理 事 | 田 中 佳 孝 | 島前PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 高 橋 洋 一 | 島後PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 遠 藤 浩 明 | 安来市PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 村 松 優 光 | 雲南市PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 大 坂 俊 光 | 飯石郡PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 嘉 藤 義 之 | 出雲市PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 秋 森 健 太 | 大田市PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 名 原 昌 邦 | 邑智郡PTA連合会 | 会 長 |

| | | | |
|-----|---------|-----------|---------|
| 理 事 | 佐々木 洋 平 | 浜田市PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 河 内 裕 司 | 鹿足郡PTA連合会 | 会 長 |
| 理 事 | 大 西 なつき | 大田市PTA連合会 | 県母親副委員長 |
| 監 事 | 安 部 慎 | 安来市PTA連合会 | 前年度副会長 |
| 監 事 | 坂 手 洋 介 | 江津市PTA連合会 | 前年度理事 |



令和元年度

PTA支援事業団体が 決まりました。

吉賀町立柿木中学校PTA

事業名:「PTA親子研修会」

浜田市立岡見小学校PTA

事業名:「炎とともに夏の夜を楽しもう」

浜田市立国府小学校PTA

事業名:「夏の夕べを親子で楽しむ会」

松江市立掛屋小学校PTA

事業名:「夏休み映画鑑賞会」

海士町立福井小学校PTA

事業名:「親子肝試し&星空観察」

お知らせ「母親委員会研修会」

日時: 令和元年12月1日(日曜日) 13:00~16:00

会場: 島根県男女共同参画センター「あすてらす」大田市大田町大田イ236-4(JR大田市駅西隣)

講師: 森 源太氏 (シンガーソングライター)

「一人一人の子たちの人生が自立した幸せなものであるために」

そばにいられない時だって、親にはできることがある

2019年8月現在の
内容です

島根県PTA連合会 小・中学生総合補償制度 (こども総合保険)

総合保障制度は登下校中だけでなく日常生活での自転車事故によるお子さまのケガや
第三者への損害賠償責任も補償します!

2018年度 保険金お支払件数

2,198件

※2018年度中に、島根県PTA連合会小・中学生総合保障制度で
支払われた保険金支払件数です。



学校管理下動産補償、熱中症補償は全ての
プランにセットされています!

※学校管理下動産とは、学校の授業・登下校中などにお子さまが
携行している身の回り品のことです

デジタル保険金請求



オンラインで簡単に保険金請求!
必要書類はメールで送付!
原則3営業日以内に保険金をお支払いします!

- デジタル保険金支払いの対象となる事故
- ・ケガによる入院/通院/手術
- ・持ち物の損害(学校管理下動産)

※デジタル保険金の対象となる補償の有無は、加入者証にて
ご確認ください。

※詳しくは、島根県PTA連合会小・中学生総合保障制度のパンフレット・補償概要
等をご覧になるか引受保険会社までお問い合わせください。

【引受保険会社】 **AIG損害保険株式会社** 松江支店
松江市伊勢宮町519-1 松江大同ビル6F
Tel(0852)26-2781 Fax(0852)26-2776

S-200014 有効期限2020年9月



編集/発行 島根県PTA連合会 事務局/松江市黒田町538 TEL0852-27-5803 FAX0852-26-7710
E-mail:simapren@ms1.megaegg.ne.jp http://www.shimane-pta.jp 島根県PTA連合会 検索